

## 事業計画書

事業名	街なかの歴史的ストックを活用し市民アートでまちづくり
実施場所	沼津市中心市街地・・・沼津駅～仲見世～新仲見世 界隈
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

沼津市中心市街地において、ビルが解体された結果、隣にあるビルの壁面があらわにされた場所がたくさん存在する。その味気ない無表情のコンクリート壁面を市民アートで描くことによって、街なかを元気にする。2022年に本町「安田屋ビル」がその第1号「壁アート2022」として完成した。引き続き「壁アート2023」を実現する。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

沼津市中心市街地には味気ない無表情のコンクリート壁面が33箇所17スペースあることが判明している。それらの壁を市民アートによってワクワクする楽しい街なかにするため、市民公募による「壁アート2023」を実施し、発案から折衝・交渉・理解・承諾、そして実施まで市民に広報し市民と共有するまちづくりイベントとして実践する。これらの壁アートが街なかにアート作品が一つ一つ連なり、“ぬまづ まちなか美術館”を構成していくことをめざすものである。

## ◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本町「安田屋ビル」が「壁アート」第1号として完成したことを含めて、改めて“ぬまづ まちなか美術館”構想について6つの商店街組合に報告し、引き続きこれからの実施への理解を求めていく。</li> <li>○壁アート第2号として、商店街組合を通じて建物オーナーに説明、理解、承諾を得ていく。</li> <li>○壁アート2023として、壁アート2022と同様に、市民公募で壁にふさわしいアートを広く募集する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年2月～3月 6商店街組合に「壁アート2022」の実績を報告するとともに、「壁アート2023」の候補地について意見を伺う。</li> <li>・令和5年4月～5月 「壁アート2023」候補対象の建物オーナーに交渉し実施の承諾を得る。</li> <li>・令和5年6月～8月 「壁アート2023」作品を市民に広く募集</li> <li>・令和5年8月～9月 「壁アート2023」第1次審査、第2次審査(公開)</li> <li>・令和5年9月～10月 最終選考者と描画実施について調整</li> <li>・令和5年11月～12月 描画作業、「壁アート2023」完成</li> </ul> </li> </ul>

## ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

- 中心市街地のスポンジ化に対して、スポンジ化の象徴としてのビルの壁で囲まれた空間を市民アートによって描くことにより、醜く汚い公共の場の空間を美しくすることになり、街なかをワクワクする空間に造り変える
- 1箇所だけにとどまらず、すべての壁面を対象にすることによって、街なかを元気にしていく
- 街なか楽しい空間であることを再認識するようになり、街なかに人を呼び込むことにつながる
- 無表情な味気ないコンクリートの壁面を市民アートによって造り変えることができることをアピールすることになる
- 市民の力によって街なかを元気にする方法があることを市民に認識してもらうことができる

<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>壁アート・プロジェクトに関わる人の数</p>	<p>指標の検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>プロジェクト進行に関わる人、及び市民公募の応募者</p>
-------------	---	----------------	--

## ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共の場にある壁面を市民アートにより描くことで、市民が共有できる空間とすることができる</li> <li>・ 「壁アート」の絵は広く市民に公募する</li> <li>・ 「壁アート」を描くプロセスを市民に見える化・・・構想、企画段階から SNS 等により情報発信し、市民と共有する／街なかを廻ってもらうことをイベントとして企画する</li> </ul>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地のスポンジ化に対して、スポンジ化の象徴としてのビルの壁で囲まれた空間を市民アートによって描くことにより、街なかをワクワクする空間に造り変える</li> </ul>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民アートによる共通認識に基づきコンクリート壁を造り変えること、これは街なかを元気づける上で画期的なこと</li> </ul>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などにどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民アートによる壁アートは、1箇所だけにとどまらず、街なかのすべての壁面を対象にすることによって、街なかを元気にしていく</li> </ul>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係事業者・商店街組合等、及び沼津市関係課へも説明し理解を得ている</li> </ul>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無表情で味気なく醜い「壁」が存在することに対して何とかしたい思い</li> <li>・ 街なかを活気ある、ワクワクする空間にしたい</li> <li>・ 賛同する市民・仲間によって協働で取り組みたい</li> </ul>

## ◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

- 「壁アート 2022」が完了し、「壁アート 2023」がプロジェクト第2号として完了したのち、ビルの所有者・管理者等と交渉し、説明し理解を求めて、第3号、第4号を実現するため進めていきたい。
- 一番実施したいと考えているビル壁面は、沼津駅前の8階建てエイブル・コアビルで、高さも最も高く、壁面の面積も最も大きい。西武百貨店が撤退し解体されたことにより、大きな壁面が出現した。沼津駅の真正面に位置し、“沼津の顔”になり得る空間である。



## ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

- 令和2年度まちづくりファンド事業スタート支援事業の採択を受け、構想づくり、実施プログラム作成を行った。
- 令和3年3月、「街なかを市民アートでまちづくり構想提案」を仲見世商店街、新仲見世商店街、銀座通り、さんさん通り、本町通り、アーケード名店街の各商店街組合に説明し理解を得た。
- 令和3年12月及び令和4年1月、安田屋そば店、安田屋ビル・オーナーに説明し、理解され賛同と承諾が得られ、令和4年度まちづくりファンド事業ステップアップ事業の採択を受け、“ぬまづ まちなか美術館”「壁アート2022」を市民公募により作品募集し、27作品の中から公開審査により1作品を選考し、令和4年12月1日完成した。
- 市民公募の応募者から、最終選考は無理だったが「楽しかった」「ワクワクした」「沼津の街なかを見直してみるきっかけになった」などメールや電話等で多く寄せられた。
- 実現した「壁アート2022」について、「明るくなった」「親しみが持てる絵」など多くのプラス評価の声が寄せられた。
- 令和5年度について、「壁アート2022」が12m×8mの大画面であり足場等に経費が掛かったことから、「壁アート2023」は小規模な場所で実施したいと考えている。

**◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）**

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。